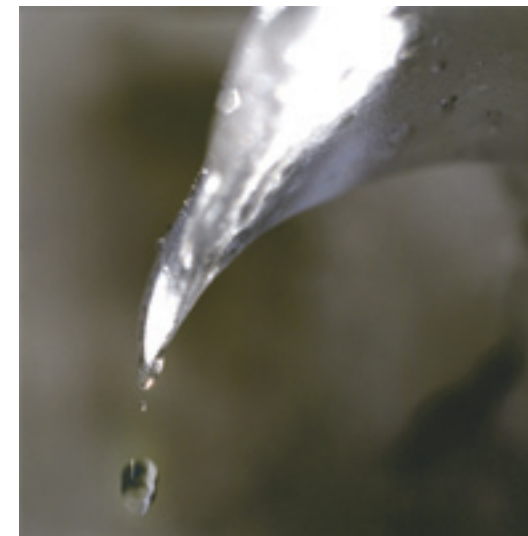


水輪廻Ⅱ

～ゆく河の流れは絶えずして～

千葉克介写真展



「雪解」

期間／平成**26**年**8**月**9**日(土)～**10**月**13**(月)

午前9時～午後7時 (ただし入館は午後6時30分まで)

休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)・観覧料／一般 300円 高校生以下無料

主催／美郷町教育委員会・主管／美郷町学友館

千葉克介 略歴

- 1946 秋田県角館町に生まれる
- 1970 東北を中心に北海道から沖縄まで写真撮影活動始める
- 1988 黎明舎設立 現在に至る
世界環境写真家協会会員

黎明舎 | 〒014-0369 秋田県仙北市角館町上菅沢 457-1
TEL 0187-55-4645 <http://chiba-katsusuke.com/>



主な著書

- 1979 「消え行く山人の記録マタギ」共著 翠楊社刊
- 1982 「伝統工芸細工」共著 角館町細工伝承館刊
- 1986 「枝垂桜の町角館」桜風社刊
- 1989 「みちのく四季彩」ぎょうせい刊
- 1990 「十和田 奥入瀬 八甲田」旅行読売出版社刊
- 1991 「奥入瀬」旅行読売出版社刊
- 1992 「八甲田」旅行読売出版社刊
レーザーディスク「八甲田」「奥入瀬」キングレコード刊
- 1993 「ザ・康楽館」R2 アソシエイツ刊
「北の彩り・秋田」秋田カッパンプラン刊
「十和田」旅行読売出版社刊(全国学校図書館協議会選定図書)
- 1995 「北の息吹」パウハウス刊
「千年ブナの記憶」共著 七賢出版刊
- 1996 「北の彩り・秋田パート2」黎明舎刊
「北の彩り・岩手」川口印刷刊
- 1998 「紅葉をとるカメラワーク」主婦と生活社刊
撮影ガイド「十和田・奥入瀬・八甲田」旅行読売出版社刊
- 1999 「北の彩り・青森」黎明舎刊
- 2000 「祭り・角館」黎明舎刊
- 2002 「奥入瀬・十和田・八甲田」旅行読売出版社刊
- 2007 「北の彩り・秋田パート3」黎明舎刊
- 2011 「西馬音内盆踊り」常磐洋紙刊

写真展

- 1984 「十和田八幡平国立公園」- ドイフォトプラザ
- 1986 「厳冬十和田」- ドイフォトプラザ
- 1989 「みちのく四季彩」- ドイフォトプラザ
- 1990-2000 「十和田・奥入瀬・八甲田」- 常設展おいらせ溪流観光センター
- 1993 「北の彩り・秋田」- 朝日新聞東京本社他
- 1995-2006 「北の彩り」常設展- 栃木 自治医大病院アートインホスピタル
- 2000 「北の彩り」- 秋田潟上市ハートインクリニック
- 2000 「野外写真展」- 角館町 西宮家
- 2003 「JAPAN JAPAN JAPAN」写真展- デンマーク
デンマーク帰国展- 角館町平福記念美術館
「北の彩り」- 新宿ペンタックスフォーラム
「世界遺産白神山地ブナ林を撮る」神戸 RCN キューブ山の小美術館
- 2004 「千葉克介写真展」- 秋田市アトリオン
「四季のかたらい」邦楽と写真のコラボレーション同時開催
「千葉克介写真展」- 銀座秀友画廊
- 2005 「四季のかたらい」邦楽と写真のコラボレーション 仙台 楽楽楽ホール
「水輪廻」- 美郷町学友館
- 2006 「千葉克介写真展」- 秋田市アトリオン
- 2007 「青森の自然」- 青森県立美術館
- 2009 「水の水輪廻」角館町安藤醸造元文庫蔵
- 2011 「写真といけばな」のコラボレーション 秋田市 アトリオン
- 2012 第二回「写真といけばな」のコラボレーション 秋田市 アトリオン

特別展によせて

平成 26 年 3 月 27 日、国会にて水循環基本法が可決、成立した。
平成 20 年 3 月 18 日美郷町議会が美郷町水環境保全条例を可決してからおよそ 6 年後の事である。

上位法令が存在しない条例を町が定めたのは「水を守る」という決意の表れであると思う。
明文化しなければならぬほど水環境が脅かされているという現状がここにある。

寛文三年(1663年)の御札書により六郷東根村の木和田沢、七滝山2ヶ所が水野目山(水源涵養林)であった記録が残っている。

この時、水を守るために森を守ることを既に知っていた。
水は生命の源であり、時には争いのもとにもなった。
現在、美郷町は七滝山にブナを植え続けている。

千葉の写真の真骨頂は、強いて言葉にすれば「作品に漂う空気感」にあると思える。

その作品の中にはいつも「水」を感じる。
三態に姿を変え世界中を廻る「水」を…

千葉は「写真家は写真で物を語れ」という。
それは多分、説明が必要な写真は彼のポリシーに合わないのだ。

作家、立松和平が千葉の写真を評した言葉がある。
「風景の写真を撮るといことは、どういうことなのだろうか。
光は時々刻々変化し、カメラを持つ自分の側もたえず変化している。

生まれるやたちまち消えてしまう光、一瞬にしか出会えない風景に向けてシャッターを押すのは、まるで永遠をフィルムの上に写しとることのようではないか。(中略)彼はどんな美しい風景の中でも決して濡れることはない。
風景にまっすぐに向きあい、その風景と対等にこちら側も存在しているという安心がある。
風景写真家としての彼独特の矜持が、彼の作品を他の凡作と画然と分けへだてていて、快い。」
「みちのく四季彩」千葉克介写真集 1989年ぎょうせい刊

千葉の写真は、あたかも眼前にその空間があるような錯覚を覚える。
それは、写真の中に入り込めるような感覚や、封じ込められた永遠の時間が感じさせるのではないか？

この素晴らしい景色に癒され、何が大切なのかを考えていただきたい。

平成 26 年 8 月 9 日

美郷町学友館

我が東北地方は、本州北部脊梁山脈を東西にわかれ、気候風土も微妙に異なる山川湖沼の原風景が広い地域に残りその美しさを今に伝えている。

いにしえより聖なる山々には広範囲にブナ帯などが広がっている。

この落葉広葉樹などが大きな水瓶となり、一滴の水が沢から川を下り、海に至るまで食物連鎖を繰り返しながら、植物、動物、人々に恵みを与えて来た。

春夏秋冬、日が昇り沈む迄、光と影、色と形を変えて移り行く自然風景を凝視し写真を撮り続けて40数年になる。

北は北海道から南は沖縄まで撮影の旅をして来た。

その中で見えてきたことは、東北独自の風景であり、そして物の見方が変わった。

自然から学び、森羅万象の喜怒哀楽のような物を感じながら、その時の感動をよりソウルフル（魂のある）な表現を目標としてシャッターを押し続けて来た。

以前友人のジャズドラマー中村達也より紹介された黒人ジャズピアニスト故ジョンヒックスに私の写真集をプレゼントした時、彼は「ミスター千葉 OK ハートツウハート」だと言ってくれた。

その意味は「写真もジャズも心で感じる事だ。言葉はいらぬ」と解釈した。

「ニューヨークで写真展を」とのアドバイスもあったが表現は出来なかった。

私が長年愛用したカメラはドイツ製のリンホフテヒニカ4×5。

写真家として40数年フィルムをメインの媒体として仕事をして来た。

主に北東北の山河や海などの原風景を求めて自然を凝視し、その中で何か見えてくるものを感じる事がある。

「何を」と言われてもコレという言葉は出ないが…

「貴方の写真は他の写真と何かが違う」とよく言われる毎に「何が」と問うとコレも答えが出ないが、思うに4×5のカメラを三脚に据え、構図などを決め、シャッターチャンスに集中する事にあるかもしれない。

或るときは何日も何時間も待つ時もあるし、それでも自分の意に叶わない時もある。それが自然だと思し、季節や雲の流れ、光と陰、雨、風や雪など自分の描いたイメージを撮る為には、待つ事に執念深く時間をかける。それが「何か」かもしれない。

現在、写真の分野でもデジタル化を避けては通れない時代でもあり、180年ほど続いた銀塩写真も少なくなっている。

しかし、撮影で表現する事はアナログもデジタルも変わらない。「自分は何をどう描くのか」が、表現者としての最大のテーマであり、私はソウルフルな写真を撮るだけだ。

二十代前半の頃、秋山庄太郎出版記念パーティーで写真界の巨匠、土門拳氏を師匠より紹介して頂いた。

氏は、車椅子からあの鋭い眼光で、私に「若いつてのは羨ましいな」と、言われた。

自分が車椅子生活をする身となった今、当時の事を時々思い出す。

千葉 克介



「霧雨降る双竜の滝」



「川面」



「百尋の滝」



「光る河」

青森	奥入瀬	ツツジ咲く三乱れの流れ
秋田	にかほ市	元滝
山形	飛島より	鳥海山黎明
岩手	八幡平	光射す樹海
岩手	三陸海岸	冬の浄土が浜
秋田	和賀山塊	冬来
青森	十和田湖	凍てつく湖面
岩手	八幡平	霧湧く樹海
秋田	抱返り溪谷	風光る
岩手	三陸海岸	北山崎
秋田	十和田湖	霧湧く十和田
青森	奥入瀬	新緑の奥入瀬
青森	奥入瀬	霧雨降る双竜の滝
秋田	由利本荘市	地棟に写る鳥海山
青森	十和田湖	水辺の紅山桜
青森	津軽	吹雪の松林
青森	十和田湖	雪間
青森	奥入瀬	苔と流れ
秋田	八幡平	紅山桜とブナ新緑
秋田	八幡平	光射す樹海
青森	奥入瀬	新緑の流れ
秋田	西木	カタクリ群落
秋田	和賀山塊	百尋の滝
秋田	岩館	吹雪の日本海
青森	十和田湖	ブナ大樹
秋田	仙北平野	光る河
岩手	八幡平	残雪のモッコ岳
青森	八甲田	朝日と樹氷

秋田	森吉	落ち葉と流れ
秋田	和賀山塊	霞桜
秋田	八幡平	秋霧
秋田	十和田湖	黎明の月
青森	奥入瀬	影紅葉
青森	奥入瀬	苔むす溪谷
青森	十和田湖	錦秋十和田湖
秋田	八幡平	残雪と大沼紅葉
秋田	鳥海山	あがりこ大王
秋田	抱返り溪谷	初冬の滝
秋田	十和田湖	紅葉輝く
青森	奥入瀬	行く秋
青森	奥入瀬	苔と流れ
青森	奥入瀬	苔滴り
青森	十和田湖	冬の湖畔
秋田	仙北平野	光る梢
秋田	奥入瀬	浅春
青森	奥入瀬	若葉香る雲井の滝
岩手	中尊寺	水面に浮かぶ紅葉
青森	白神山地	冬暗門の滝
秋田	八幡平	紅葉雪化粧
青森	十和田湖	朝霧の紅葉
青森	八甲田	夕映えの八甲田連峰
青森	八甲田	川面
秋田	田沢湖	朝霧の田沢湖
秋田	仙北平野	水田
		雪解

※出品作品は変更となる場合があります。